

平成27年度 事務事業評価シート

章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	II	文化の保存・継承
目標	文化財や郷土芸能などの文化遺産の積極的な保護と活用に努める。	

指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	目標値 H27
指標① 歴史や文化講座の参加者数	人	1,047	1,021	1,237	1,035	1,287	1,023	1,086		1,400
指標② 歴史文化施設（郷土資料館・埋蔵文化施設等）入館者数	人	3,400	4,562	5,491	4,926	4,975	5,108	5,490		4,500

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1 歴史の伝承と活用	① 社会教育施設の充実と有効活用	・登別市に残された先史から現代に至るまでの歴史や文化を学ぶことのできる郷土資料館で展示や歴史学習の充実を図ります。 ・樺路館山の歴史をネイチャーセンターで伝えるなど、既存施設の有効利用と維持補修に努めます。 ・遺跡(埋蔵文化財)について学ぶことのできるのほりべつ文化交流館で展示や学習の充実を図ります。
1-②	1 歴史の伝承と活用	② 埋蔵文化財の保管、展示施設の整備と学習会の開催	・埋蔵文化財出土品を適切に保管、展示し、児童・生徒や市民が体験学習できる施設の整備を進めます。 ・市内の埋蔵文化財等について調査・研究を進めるとともに出前講座などの学習会等を開催して子どもたちや市民が登別市の歴史を学ぶ機会を拡充し、周知を図ります。 ・郷土史関係者との連携や、デジタル化等による資料の保存を図ります。
1-③	1 歴史の伝承と活用	③ 地域文化や民俗芸能に触れる機会の支援	・地域文化を学ぶ機会を提供するとともに、地区の歴史を知る方との懇談会等を開催し地区の歴史を伝承します。 ・子どもたちが学校や地域で継続的に民俗芸能に触れる機会の取組を支援するとともに、民俗芸能を継承するための映像保存を進めます。
1-④	1 歴史の伝承と活用	④ 温泉の歴史、文化を活用した事業	・観光協会や温泉資源の学術研究を行う大学などの研究機関との連携を図り、温泉の歴史や文化を活用した事業の展開を進めます。 ・情報通信技術などを積極的に利用して、国内外への情報発信に努めます。
2-①	2 アイヌ文化の振興	① アイヌ文化に関する調査研究、記録の保存	・アイヌがこの地で培った自然観や食などの生活文化、また、アイヌ語地名や遺跡などを将来にわたって伝承するため、各種活動団体と協力し、調査研究、記録保存を進めます。
2-②	2 アイヌ文化の振興	② 伝統芸能、工芸に触れる機会の充実	・アイヌ文化の普及を図るため、市民が伝統的な芸能や工芸、口承文芸などを学ぶ機会を充実します。
2-③	2 アイヌ文化の振興	③ 市民講座の開催、小、中学校への情報提供	・市民がアイヌの文化と歴史を総合的に学ぶことができる市民講座などを開催するとともに、小、中学校へ情報提供を行い、理解を深めます。

NO	施策	事業名 【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan・Do											Check						Action										
								事業概要				事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							評価	評価の判断理由、特記事項など (妥当性、有効性、効率性、成果)	今後の事業の方向性 【H28以降】							
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、重名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	名称	H25決算	H26決算	H27予算					H28予算案	H29予算案	H30予算案				
1	1-①	郷土資料館運営管理経費 53211001	教育委員会 社会教育G	S56	-	ソフト	一般会計	郷土に関する資料を市民に供することにより、ふるさと登別を愛する心を育てることを目的とする。	H25	郷土資料館利用者	郷土の歴史、民俗、産業文化に関する資料を収集、保管、展示する郷土資料館の運営管理を行った。 【収集資料】：寄贈10件(1,078点)、寄託1件(6点) 【特別展】：4回 【イベント】：わんぱくサムライ体験	郷土資料館条例、郷土資料館条例施行規則	入館者数	人	3,211	3,643	3,500	3,500	3,500	3,500											H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	登別市の貴重な歴史資料を収集・保存・展示する施設であり、貴重な資料を後世に残すため、多くの経費や労力が必要であるが、市民にとっては郷土の歴史を知ることであり、市外の方には所蔵資料を通じて登別市の歴史や魅力に触れることのできる場であることから、今後も継続的に事業を実施していくことが相当である。	郷土に関する資料を市民に供し、ふるさと登別を愛する心を育てるため、今後も継続して郷土に関する資料の収集、保管、展示を行う郷土資料館の運営管理を行うとともに、魅力ある博物館作りのため常設展示の一部入れ替えや特別展の開催等を行っていく。	
								H26	上記のとおり	上記のとおり 【収集資料】：寄贈11件(129点) 【特別展】：4回 【企画展】：3回 【イベント】：わんぱくサムライ体験 【その他】：常設展示室の一部展示替え	上記のとおり											地方債									H26	宮城県白石市からの借用資料をはじめ北海道内外の資料を用いた特別展を実施したほか、本市に縁の深いアイヌ語地名学者の特別展を北海道と共催で実施するなどして、郷土の歴史の普及啓蒙に努めた。			
								H27	上記のとおり	上記のとおり実施中 【収集資料】：寄贈6件(7月31日現在) 【特別展】：2回 【企画展】：3回 【イベント】：わんぱくサムライ体験 【その他】：SLG養成講座、敷地内樹木風倒防止、常設展示室の一部展示替え	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	一般財源	1,943	1,827	2,543	2,543	2,543	2,543			H27	常設展示の一部入れ替えを行い、新たな資料の公開とともに、見やすい展示に努める。		
								合計														2,116	2,070	2,749	2,749	2,749	2,749								
2	1-①	文化伝承館運営管理経費 53211002	教育委員会 社会教育G	H8	-	ソフト	一般会計	郷土の歴史や文化を伝えることにより、市民の教育・文化の向上を図ることを目的とする。	H25	文化伝承館利用者	文化伝承館を運営し、郷土の歴史や文化に関する学習会等を開催した。 【体験事業】17回	登別市文化伝承館条例、登別市文化伝承館条例施行規則	体験事業参加者	人	234	242	250	250	250	250											H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	布ぞうり作り、べこもち・らくがん作りなどの体験を通して、市民が郷土の歴史や文化に触れる機会を提供していることから、今後も継続的に事業を実施していくことが相当である。	今後も、郷土資料館ボランティアグループSLGとともに体験学習の内容の充実を図っていく。	
								H26	上記のとおり	上記のとおり 【体験事業】17回	上記のとおり											地方債								H26	体験事業の内容を、実施する郷土資料館ボランティアグループSLGと検討し、1件新たな体験事業に改め実施した。				
								H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	一般財源	203	211	239	239	239	239			H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
								合計														261	265	305	305	305	305								
3	1-②	文化財保護経費 53212001	教育委員会 社会教育G	S45	-	ソフト	一般会計	郷土を形作る文化財の保護と活用を図ることにより、ふるさと登別に対する理解を深め、大切にすることを目的とする。	H25	市民	市民に対する指定文化財等の周知、文化財の保護活動、活用等を実施した。 【実施事業】 ・市内の文化財の保護・管理 ・講座(縄文文化・アイヌ文化・古文書)11件 ・埋蔵文化財事前協議1件 ・史跡名勝天然記念物等の事務手続き等	文化財保護法、登別市文化財保護条例、登別市文化財保護条例施行規則	登別市指定文化財数(年度ベース)	件	6	6	7	8	9	9												H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	地域に根ざす心豊かな生活を送るために、ふるさと登別に関係する文化財・歴史の保護・活用を図ることは、将来の登別の基礎となる大切なことであるため、今後も継続的に事業を実施していくことは妥当であるが、その手法については費用対効果などを踏まえながら見直しを検討する必要がある。	白石市との往來の必要性、参加人数等について、費用対効果を踏まえながら見直しを検討する。
								H26	上記のとおり	上記のとおり ・歴史的つながりのマチとの交流の促進 ・市内の文化財の保護・管理 ・講座(縄文文化・アイヌ文化・古文書)・講演12件 ・埋蔵文化財事前協議2件 ・史跡名勝天然記念物等の事務手続き等	上記のとおり											地方債									H26	学芸員2人を宮城県白石市に派遣して歴史交流講演会を実施したほか、資料借用、資料調査を実施し、交流を深めることができた。また、札幌白石区とのつながりがあるマチとの交流の促進に努めた。			
								H27	上記のとおり	上記のとおり実施中(平成27年7月31日現在) ・歴史的つながりのマチとの交流の促進 ・市内の文化財の保護・管理 ・講座(縄文文化・アイヌ文化・古文書)・講演5件 ・埋蔵文化財事前協議2件 ・史跡名勝天然記念物等の事務手続き等	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	一般財源	150	355	350	577	577	577			H27	宮城県白石市から職員2人が登別市に派遣され、講演会を実施するとともに、資料調査や資料貸出を実施する。		
								合計														150	385	350	577	577	577								

